

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式会社
代理店 西村屋薬舗
平町二丁目（電三）

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
氣管食道科

平町南町（舊診療所向）電話一七〇番
大和田醫院

御料理開業披露
此度元千代本跡に料理店を開業致しまし
た時節柄忘年會又は新年會緊縮にふさは
しき簡素を旨とする宴會等の需に應じま
す是非御引立下さい

平町仲田町元千代本跡（電話八二二番）
照よし

美味滋養
シユークリーム
一ツ五錢

目丁四
ヤトモツマ
番四一話電

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一三番

常盤新聞

定部金貳錢 廣告五號十二行 印刷費五錢
日刊 印刷所 川崎文治 本社同番地（電話六三〇番）
印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日一廿月二十

正權 體温計
關内藥局
電話三〇番

淋病 梅毒 皮膚病 婦人病
門專
院醫科 腸胃病 胃性病 村松
（七〇一話電町南平）

季節向
毛糸の大廉賣
森下商店
平町一丁目



大福引付時計大廉賣
奉仕的に！大犠牲を拂ひ！！
弊店にて金五圓以上の時計御買上の御客様
に對し左記大當り福引券漏なく差上げます

一等	側 スイス製 腕巻時計	五本
二等	側 スイス製 腕巻時計	七〇本
三等	側 スイス製 腕巻時計	一〇〇本
四等	側 スイス製 腕巻時計	二〇〇本
五等	側 スイス製 腕巻時計	四〇〇本
六等	側 スイス製 腕巻時計	四〇〇本

全部空籤なし賣切の節は何時にも打切り
賞品は全部賞品の新品にて保険付

期間 十二月十五日より
十二月參拾一日まで
常盤屋時計店
平町一丁目（電話三三九番）

公債政策に就て
代議士 山下谷次
(終)

我々は未曾有の大災害の善
後處分に要する財源の全部
若くは一部を公債を以て一
時支拂することは固より當
然のことである。確信する
若し此の如く一時の災害に
依て急に増加する経費を全
部普通財源に依らねばなら
ぬとすれば、全國に亘る他
の施設を中止するの外はな
い。それは國運の發展を阻
害するものであつて、國家

全體より見て決して適切な
の方策ではない、現内閣は
右の如き窮屈なる方針を取
つた爲めに治水、港灣、道
路、農村振興、其他地方開
發、産業助成等に關する諸
般の施設に要する經費に大
削減を加へ、國力の發展を
中止せしめ此の如くにして
全國より榨り上げたる削減
の財源を擧げて東京横濱の
土木事業に振向け、之に依
つて公債の發行額を減少す
ることにしたのである。然
らば左様なことを敢てして
公債の發行額を減少するの
は何の爲めかと言へば大銀
行大資本家等多額の既發公
債の所有者の希望を滿たし

その時價を維持せんとする
に外ならないのである見ひ
換へれば全國各地方の福利
増進を犠牲にして大都會に
之を集中し且つ少數者の利
益の爲めに多數國民の利益
を無視するの方策であると
評するの外はないのである

何んでも揃ふ
買いいい店
ピクター 二幸堂
平二丁目

警城名物
干やなぎ
鹽から
御贈答品に好適
御用命次第
廉價御提供

魚問屋
目丁四平
屋問魚屋市丸
番三一話電

◆當店特製の生地裁縫共に申分ない品です
學生外套特賣

小學生用 8圓50錢
中學生用 11圓00錢

なかや洋服店
平二 電二〇三

會社は經濟難にて 値下げには應じ難い

東部電力の回答を齎し
西山常務本日來平

平町の電燈値下問題に關し
這般實行委員の交渉に對し
會社側の西山常務本日午前
十一時一分平驛着上り列
車にて來平直ちに役場に於

べきを以つて遺憾ながら要
求に應じ難し」との事に委
員側は「平町の主張を
何等容認せざるは
忍ばんとして忍ぶ能はず」と
強硬に迫る處あり結局西山
常務は「來る廿四日の株主
總會當日に重役會が開かれ
るから其席にて今一應平町
の要求を諮かり年内に結果
を斷すべければ諒承相成度
しと誠意を披瀝し會見を終
つた

伏見町長 及び七名
の實行委員に會見したが回
答の大意は「目下會社は經
濟難に遭遇し僅かに八分の
配當を辛じて爲すの状態に
て若し此際値下げを爲さん
か會社は全く行詰りに陥る

不景氣を追飛ばせよ

忘年会に花街が賑ふ

どこ迄行つたら樹て直るの
か見當がつかない此の不景
氣に平町方面は金融の逼迫
農村の不作、炭礦の

店はまだ暮らしい忙しさを
見て來たが「會費等は例年
の
半分位で すが宴會
の數は割合に多い様です」
と某料理亭では語つてゐたが
大きな料理屋より小さな處
やガフエーホール等の忘年
會が多いのは明かに不景氣
を物語つてゐるものである

不振等て 何れも悲
鳴をあげてゐるが泣いても
悲しんでもカレンダーは二
枚々々減つて行くので半分
は自棄も手傳つてか恒例の
忘年会がポツ／＼花柳街を
賑して來た十八日には石城
銀行組合が例會を兼ねて忘
年會の魁をなし磐城炭礦の
従業員も 忘年會を

衛生世話役
眞赤に怒る
嘘も甚しいと
石城郡内郷村綴字大木下石
炭採掘販賣業箭内千代保(一
)は緩の衛生世話掛をし

新築役場財源の 町有地賣却決定

既報の通り百澤易興氏に
二萬四千三百圓で

既報平町々會は昨日午後二
時より町役場に於て開かれ
町有地處分行政區増設其他
數件を附議したが役場新築
移轉の財源となるべき水道
部敷地四百二十六坪一合及
十五丁目の町有地百十坪八
合は原案の通り合計二萬四
千三百三十七圓にて四丁目
百澤易興氏に賣却する事に
決定し又月見町は從來行政
區二十五區として新川町に
併合されて居た區最近入家

増加した爲め獨立して二十
六區と爲す事に決した外役
場員のボーナス(町長五百
圓其他)を決定午後六時閉
會した

お繪 の書

あら玉の
年の初め
もあと十
日、雜誌
屋、繪葉
書の店頭には、もうとう
から春がはけて馬や勅題の
繪葉書が山のや

てゐるがこの秋の大掃除の
際同村町の内飲食店業石堂
鐵雄(三)所有井戸中へ石灰
をスコップにて三四杯投入
したといふ理由で石堂より
告訴されたが右の事實は無

投票しないのを 恨んで不實の申告

遂に腹にすえかねて
名譽き損の告訴

石城郡内郷御台境字坂下六
八草野兼吉(三)は同村坂下
鈴木武(三)を相手取り此程
平署に名譽毀損の告訴を提
起したが右の理由は去る十
一月草野の息子政勝(三)は
石城郡好間村某の畑より大
根を窃取したのを發見され
二百圓を出して示談にした
と鈴木が御厩の駐在所に訴
へたので草野は春川巡査の
取調べを受けたが右は事實
無根で鈴木が斯る不實の申
告を爲すに至つたのは此の
春の村會議員選舉の際鈴木
の實兄が立候補し草野に投
票を依頼したるに草野は候
補者の人格を信頼しない爲
め投票しなかつたのを恨み
かく誣告したるものとなし
て右の訴に及んだものであ
ると

根にして石堂が管内を刑事
上の處分を受けしむる目的
で告訴したもので名譽毀損
するも甚しきものとして此
程反對に平署に告訴した

極貧者救濟

共濟委員協議

石城共濟委員會は二十二日
午前十時から平町警署訓育
院に開催年末年始贈答品廢
止並びに極貧者救濟等に關
し協議

昨日の馬耕入賞者

平町外夏井神谷が聯合

平町農會及夏井神谷兩村會
農會聯合馬耕競技會は昨日
午前九時より鎌田裡田地に
於て開催されたが審査の結
果受賞者左の通り決定した
(優等)神谷鈴木秀男、夏
井渡邊又中、佐藤宗則、
神谷平田眞一郎、夏井新
妻松次郎、神谷箱崎悠治
夏井鈴木正義、平高島鶴
吉(壹等)夏井小泉保(二
等)平吉村菊太郎、神谷
鈴木秀秋(三等)神谷志賀
兼太郎、同木村清司、同

錢で、二圓三十錢はかゝ
るこれも書損じや刷り餘り
を加へたらもつと高いもの
になるからそこで私製の葉
書臺紙を使ふとするとこれ
また臺紙だけていくら安く
ても百枚卅五六錢する、然
るにだ、今年繪葉書屋で賣
つてゐる年賀葉書といふの
が右印刷の文句まではいつ
てゐる百枚卅七八錢名前を
別に印刷させても組版が簡
單だから別注文のものより
は安く上がる、つまりそこ
に既製葉書の生命があらう
といふものだ

鬼の耳

結婚前に身體檢
査令 エヂプト
のカイロからの
通信によると同
國では今度「結婚式を舉げ
る前に男女双方共身體檢査
を行ふべし」といふ法律が
設けられたとのこと同國保
健局からの發表によると首
府カイロ市の遺傳病の増加
は全くレコード破りでこの
法律が設けられたのもこの
結果らしいが無智の市民や
邪教徒等は身體檢査を拒む
だらうといはれてゐる

平町人事

出生
△四丁目五九 自主武氏長女美江
子
△四丁目二五 鈴木牛太郎氏三女テ
ル

時計 指環 常盤屋

平電電三三九

明日の 豫氣天

北西の風
晴れ時々
曇る

ると今年の相場は去年二錢
だつたものが一錢一錢だつ
たものが五厘といふところ
ださうな、繪葉書の圖柄を
干支に因んだ馬のものが大
半を占めてゐるが、こゝに
も矢張時世の勢ひが干支よ
り興味本位のものも多く望
まれて「デヤズ氣分、モガ
の正月」といつたモダン
模樣があらはれて居る、ダ
ンスホール、カフェートラ
イブ、レブニュー等、々々細
かい線描きとコケチツシユ
な構圖が郵便配達君の無聊
を慰めさうなものもある。
兎に角年々歳々のことなが
ら年賀葉書だけはどこまで
のびて行くか其つきるところ
を知らずといふ有様だ